

強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

開催にあたって

福祉事業所職員による利用者虐待の中で、被虐待者の多くが行動障害を伴う人たちです。「強度行動障害支援者養成研修」が始まりましたが、支援現場でスーパーバイザーとして活躍できる人材の養成が急務です。そこで、私ども法人独自で、「スーパーバイザー養成研修」を実施いたします。ご参加ください。

- 開催日 : 平成 28 年 4 月 27 日 (水) 5 月 27 日 (金) 6 月 17 日 (金)
7 月 29 日 (金) 8 月 19 日 (金) 9 月 30 日 (金)
- 時 間 : 14:00~16:00
- 会 場 : 社会福祉法人 北摂杉の子会 4階会議室
- 講 師 : 社会福祉法人 北摂杉の子会 発達障害スーパーバイザー 堀内 桂
- 参加人数 : 12 人 (6 事業所×2 人) ※先着順になります
- 参加費 : 1 事業所 8 万円 (消費税・テキスト代含む)

講師紹介

社会福祉法人 北摂杉の子会 発達障害スーパーバイザー 堀内 桂

自閉症スペクトラム支援士。大阪教育大学大学院卒。
1995 年より、自閉症児の療育に関わる。大阪市立心身障害者
リハビリテーションセンターにて、臨床心理士として発達障害の
診断や手帳判定の業務に携わる。



申込方法

- ・当法人ホームページ(<http://www.suginokokai.com>)内「お問い合わせ」にあります申し込みフォームに必要事項を入力ください。先着順となりますので、参加が決まりましたら、参加費と振込口座名を記載した請求書を送ります。
- ・参加費は初日 1 週間前までに必ずお振込みください。振込手数料は貴団体にてご負担ください。
- ・キャンセルについては、開催初日の 1 週間前からは受講料の 50%、開催初日は 100%をキャンセル料として申し受けます。
- ・お問合せ ☎072-662-8133 担当:河辺(かわべ)

<プログラム内容>

1 障害特性の理解

- ・強度行動障害という言葉の意味と自閉症スペクトラムとの関係
- ・冰山モデル
- ・行動障害の水面下にある独特な認知と情報処理
- ・認知情報が生じる脳機能
- ・感覚の特異性への配慮

2 合理的配慮の構築にむけて導入

～アセスメントとコミュニケーション支援の導入～

- ・フォーマルなアセスメントの集め方、活かし方
- ・インフォーマルなアセスメントの集め方、活かし方
- ・アセスメントから、主には時間や空間の構造化と話し言葉によらないコミュニケーションの支援
- ・確実な自己表現の方法の開発による自己決定支援

3 拡大的、代替的コミュニケーションの開発

- ・支援を始めるうえで必要な、コミュニケーション上のアセスメントの仕方
- ・アセスメントに基づいた言葉に頼らないコミュニケーション手段の導入
- ・将来の汎用性を考慮した、代替的コミュニケーションの展開
- ・スムーズに伝わるという実感を通した、激しい行動に変わる、より社会的な手段への展開

4 行動分析

- ・ABC分析。行動(する、した)だけに注目する
- ・その行動が結果的に何を得ているのかを分析し、別の手段に置き換える
- ・トークンシステムなど

5 事例研究

6 効果検証

会場

社会福祉法人北摂杉の子会 4階会議室
高槻市城北町 1-6-8 奥野ビル 4階
(高槻警察署向いのビル)

TEL 072-662-8133 担当:河辺(かわべ)

